

意見書（案）第34号

米不足への対応を求める意見書

上記の意見書（案）を別紙のとおり提出する。

令和6年9月30日

三鷹市議会議長 伊藤俊明様

提出者	三鷹市議会議員	紫野あすか
賛成者	〃	大城美幸
〃	〃	前田まい
〃	〃	栗原けんじ

米不足への対応を求める意見書

国民の主食である米の流通が滞り、店頭から米が消え、買えないという事態が発生している。このような事態が起きた直後、坂本農林水産大臣は「逼迫しているとは考えていない」と述べるのみで対応をしなかった。現在、少しずつ店頭で新米が並び始めてはいるが、価格の高騰が激しい状況である。

長期にわたる国からの減反政策により農民に減産を押しつけ、米の需給と価格の安定に対する責任を放棄してきた。2021年の米の生産者価格の暴落以降、全国の米農家は低い米価と農業資材の高騰に苦しみ、農家をやめてしまう人が急増した。政府は何の対策も講じず、その結果、かつては1,000万トン以上あった米の生産量は661万トンにまで減少、今年は需要量が上回ったため、6月末時点の米の民間在庫量が156万トンと過去最低水準となった。今回の米不足は、安定して十分な生産量を確保し、価格保証、所得補償によって農家の収入を支える対策を行っていれば防げた事態であり、国の失政と言わざるを得ない。在庫米があるのなら、店頭で並ぶよう緊急に対策を取るべきである。

よって、本市議会は、政府に対し、下記のことを要望する。

記

- 1 米不足の実態、実情を把握し、関係者の声を聴くこと。
- 2 政府備蓄米の活用も含め、生産者団体や流通、小売業界と協力し、店頭で十分な米が回るよう緊急対策を講ずること。これにより、生産者に価格の変動による不利益を生じさせないように対策すること。
- 3 農家の価格保証や所得補償を抜本的に充実し、大多数の農業者が安定して生産を続けられる条件を整えること。
- 4 価格高騰により米の小売業者の仕入れ資金が不足している。借入条件の優遇、別枠融資、利率の軽減等の緊急対策を講ずること。

上記、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和6年9月30日

三鷹市議会議長 伊藤俊明